

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	国土保全特別対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	建設部	課等名	土木課		1	6	1	7	26	1	20,000
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり				包含する細々目							
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画 条例等						
		事業期間	12	年度～			年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	用排水路(利用する農地、受益者及び流域住民)	対象水路延長:m	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			1060			
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
農作業の効率化	改修済延長:m	18目標	230	最終目標		
		18実績	175	19目標	575	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	農山漁村地域が果たしている国土保全のため重要かつ多面的な役割の維持増進を図るため、農地の付帯施設である用排水路の整備を行い、農地の保全を進めるとともに、これにより生産基盤・生産条件の改善を進め、農作業の効率化を図る。	18年度の実績	工事施工(水路改修) 3地区	施工延長:m	202
		19年度計画	工事施工(水路改修) 4地区	施工延長:m	326

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	15,000	15,000
	その他		
	一般財源	5,000	5,000
事業費計(A)	20,000	20,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 580	19年度 580
	臨時職員等所要時間	40	40
	人件費計(B)	2,117	2,117
	トータルコストA+B	22,117	22,117

特定財源内訳や補足事項	地域活性化事業債(75%)
-------------	---------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	営農の合理化による増収が図れ、荒廃・遊休農地の増加が抑制され、農村景観・自然環境を保持すると共に災害の未然防止等国土保全が図られる 出荷額等を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	121	19実績		
			20実績		21実績		
			22実績		23目標	139.1	
			現状値		19実績		
			20実績		21実績		
22実績				23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
農山漁村地域が果たしている国土保全のための多目的な役割の重要性に着目し、老朽化した用排水路の整備を実施することにより、用水の安定確保・維持労力の軽減、営農の合理化を図り、農地の荒廃防止、後継者の育成につながることに、国土保全をはかる。	過疎化や農家の高齢化等の進展により、遊休農地が著しく増加し、用排水路の保全管理が困難になり、老朽化が一層進んできている。	過疎化や農家の高齢化等の進展により、用排水路の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み地区からの改修要望が多く寄せられている。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	工法等を見直して、コストの縮減を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	新しい製品や工法の検討

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	